西予だより

議会だより

2007年
6月
定例会
第13号
2007.720発行



海開き　明浜町

contents

大野ヶ原小改築決定 ②
新正副議長就任 ③
質疑　オービーシステム異議あり ④
委員会報告 ⑤
一般質問 ⑧
みかめびんびん市 ⑯
特集 診療所存続ピンチ ⑭

西予議会だより　第13号　http://www.city.seiyo.ehime.jp/gikai.html　E-mail gikai-chousa@city.seiyo.ehime.jp

西予市の風景



桂川渓谷（野村町）

わが町の取って置きのスポット



高野長英の隠れ家（宇和町）

まだまだあるぞ地域に残る小さな行事

みかめびんびん市

三瓶町朝立地区

地元産物の販売と住民のふれあいの場として、また、町の活性化をめざして「新鮮度120％ビンビン市」が発足したのは平成9年9月。当時の出店者は、地元の農家・JA婦人部・生活改善グループ・海産物店・女性塾等が中心として開催しておりました。

また、2004年えひめ町並み博によるイベントリニューアルにともない、大幅な出店者・来場者増加が図られ、名称を「みかめびんびん市」に変更。町内外を問わず多数の出店者が参加し、衣類・雑貨を主としたフリーマーケットも同時開催となった。

現在では、みかめ海の駅潮彩館のオープンにともない、開催場所を三瓶文化会館駐車場から潮彩館に移転。今まで以上ににぎわいをみせている。

（毎月第3日曜日9時～14時頃まで、都合により変更する場合があります）



びんびん市（三瓶町）

編集委員の眼



国道378号線に咲くハイビスカス（明浜町）

ゴルフを楽しむ人が「誤って打っていないのに真っ直ぐに飛ばない。」と言う。しかし、そうだろうか。他の人がすべての角度から見れば、スタンスが悪い、目標に向かっていないことなどがよく分かる。とかく、自分自身のことは観えないものだ。素直に他の人の言に耳をかして、それでも信念の道を貫いてみたい。そのような委員としての眼を養うために編集に臨みたい。

明浜の国道378号線（渡江地区）で咲き、夏の暑さを誇示するハイビスカスの花。

この花の美しさをすべての人が認めてくれるような多角的な視点を持ちたいと思う

（さ）

編集後記

今年の梅雨は空梅雨で水不足が心配されていましたが七月にはいり活発な梅雨前線の影響で、県内全域での給水制限がほぼ解除されまして一安心といったところです。しかし、地球的規模では近年自然環境が変わってきているように思われます。西予市議会におきましても大切な地球環境を守る取り組みとして今年も夏季の「クールビズ」が励行されています。編集委員会では今後も読んでもらえる議会だよりを目指してがんばりますので、ご愛読よろしくお願いします。

（あ）

編集委員
◎委員長　宇都宮明宏
○副委員長　亀井　秀男
委員　松山　清
元親　孝志
浅野　忠昭
酒井宇之吉
山本　英男
鍵原　芳和

発行／西予市議会　編集／議会だより編集委員会　発行責任者／嶋川武文　〒797-0015 西予市宇和町卯之町三丁目434-1　TEL0894-62-6413

新校舎建設決定


初夏の大野ヶ原小学校

6月14日から6月27日までの14日間の会期で、第2回定例会が開催されました。

今回の定例会の主な議案は、条例改正2件、予算関係では一般会計、特別会計、企業会計等8件の補正予算、繰越明許費繰越計算書の報告4件と西予市国民保護計画の作成報告1件の計15件と、陳情2件・意見書案1件を審議いたしました。

なお、総務・厚生・産業建設の各委員会とともに関係所管事項について市内現地調査を実施いたしました。

総額1億6千5百万円補正

一般会計は、今回1億6千512万6千円を追加し、総額で231億2千119万円となりました。補正の主なものは、4月人事異動に伴う人件費の調整・名誉市民表彰式典経費・上水道事業会計繰出金・団体営土地改良事業負担金・がけ崩れ防災対策事業費・学校建設費・災害復旧費です。

一般会計の主な補正

係る補助金

■造林事業費
765万円
市有林間伐作業費の追加委託料

【土木費】

■急傾斜崩壊防止対策事業費
300万円
宇和町山ノ神地区のがけ崩れ防災対策工事

【教育費】

■学校教育費
58万円
電話による子供や保護者からの教育相談に応じる窓口を教委事務局内に開設するもの

■学校建設費
510万9千円
大野ヶ原小学校の改築に伴う設計委託料・地質調査費

■公民館費
441万8千円
県道331号線（高瀬松渓線）改良に伴う中筋公民館の物件移転工事費

【災害復旧費】

■公共土木施設災害復旧費
480万円
市道赤木佐須線道路災害復旧工事に係る測量調査委託料


地滑りの危険性がある市道赤木・佐須線（野村町）

大野ヶ原小学校

こんにちは嶋川・浅野です！

申し合わせ任期に伴う議長選挙において、議員各位の温かいご理解をいただきまして、四代目議長に就任をいたしました、三瓶町出身の嶋川武文です。

今年は議会にとりましても、任期の最終年度にあたり、いわゆる仕上げの年度ということになります。過去3年間は、合併までに調整できなかった諸問題について、行政と一丸になって速やかな調整を行ってまいりました。いよいよ今年度は、これからの新しい西予市をつくっていくための、方向性を示す年度であると位置づけています。厳しい財政の下で、夢のあるまちづくりをどう進めていけばいいのか。議会と行政が相対立するのではなく、緊張感のあるよきパートナーとして、共に一緒になってこの厳しい時代を乗り切ってまいりたいと考えております。

議会の意見を良く聞きながら、市民の皆さんの付託に答えてまいりたいと考えておりますので、どうか温かいご理解を賜りますようお願いいたします。


浅野副議長　　嶋川議長

特別会計補正予算

【国民健康保険特別会計】
○事業勘定、診療所勘定ともに人事異動に伴う人件費の調整
▼421万円

【老人保健特別会計】
○人事異動に伴う人件費の調整
775万円

○支払基金への償還金
965万1千円

○一般会計繰出金
4千115万3千円

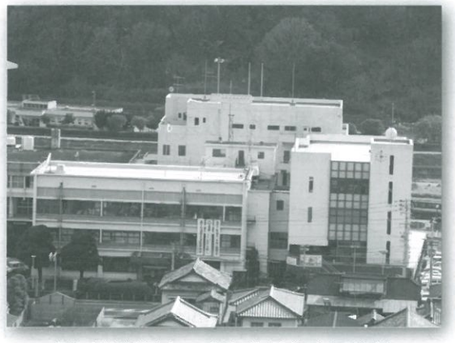
【介護保険特別会計】
○人事異動に伴う人件費の調整
425万3千円

【簡易水道特別会計】
○同、人件費の調整
▼309万5千円

【公共下水道事業特別会計】
○同、人件費の調整
▼215万円

公営企業会計補正予算

【上水道事業会計】
宇和・明浜・三瓶ともに同、人件費の調整
553万2千円


耐震診断予定の宇和公民館と図書館

などが特別会計、企業会計の主な補正です。

陳情・意見書の取り扱いについて

■西予市三瓶南運動場での特別養護老人ホームの建設中止を求める陳情について
不採択

■WTO・FTA交渉等に関する陳情について
採択

この陳情については、国に対して意見書を提出

議会日程

6月

14	木	本会議（開会）	
15	金	一般質問	
16	土	休会	
17	日	休会	
18	月	常任委員会	←
19	火		
20	水		
21	木		
22	金		
23	土	休会	←
24	日		
25	月		
26	火		
27	水	本会議（閉会）	←

質議 6月補正を質しました

オービーシステム 3セクそれとも民間

問 オービーシステムの位置づけについて、これは第三セクターなのか、それとも有限会社なのか。また、実態が市民に分かりにくい。有限会社であるのなら内容を公開していただきたい。

答 オービーシステム(有)は51%(株)を市が持っている有限会社であり、決算報告という形で公表しております。それを見ていただけば明白です。

問 決算はわかるが、内容について今ひとつわかりにくいところがある。どう理解したらいいのか。

答 決算の公表というのは完全な公表であり、内容まで公表しているつもりでありますので、それをしっかり吟味していただきたい。

造林事業費 補正額が多いのは

問 造林事業費で業務委託料が765万円補正されていますが、これは当初予算額以上の補正ということでありますが、今回を含めて間伐の材積、面積はどの程度になるのか。また単価はどのように見込まれているのか。

答 間伐面積ですが、当初は9.1ha、約278万円、変更により20.3ha、約1千200万円の経費です。

問 材積と単価(1㎥あたり)はいくらなのか。

答 当初は材積が385㎥で1万3千円、それから変更で1千㎥で1万4千円です。

宇和中学校体育館 改築予定はいつか

問 宇和中学校の体育館が狭隘でバレーボールの公式試合もできない。その後の検討の経緯はどうなっているのか。

答 宇和中の体育館につきましては、現況も把握しておりますし、大野ヶ原小学校改築後の次の段階として今考えているところです。



財政圧迫が心配される公共下水事業

ゴミ分別さらなる徹底を

問 ゴミ分別の徹底によって昨年度1億円余り経費を節減できた。出来れば機会を通じて、市民のいろいろな人たちに、分別の苦労(ハイプラ施設)を知らして欲しい。また、夏は特に大変暑い作業環境なので、衛生、風通しについて十分配慮していただきたい。

答 市長、職員自らがその研修に参加をしながら、住民の皆様のご理解も得ていきたいと思います。作業環境は以前よりは大分好転しているとは思っていますが、配慮は今後も続けて行きたいと思っています。

新庁舎の建設範囲 すでに想定済みか

問 耐力度調査をやるということはある程度新庁舎建設の範囲を想定してやられるのではないか。その調査意義、そしてこれをどう考えようとしているのか。またどの範囲で庁舎を建設する目処なのか。スケジュール上今年大丈夫なのか。

答 現庁舎の周辺に建設するに当たって、それぞれの建物が持っている耐力度を調査し、その中でいろいろな可能性が考えられる時に対応をしておくということです。

公共下水道事業 加入者は大丈夫

問 下水道事業費の財源内訳はどうなっているか。

答 市長、職員自らがその研修に参加をしながら、住民の皆様のご理解も得ていきたいと思います。作業環境は以前よりは大分好転しているとは思っていますが、配慮は今後も続けて行きたいと思っています。

新庁舎の建設範囲 すでに想定済みか

問 耐力度調査をやるということはある程度新庁舎建設の範囲を想定してやられるのではないか。その調査意義、そしてこれをどう考えようとしているのか。またどの範囲で庁舎を建設する目処なのか。スケジュール上今年大丈夫なのか。

答 現庁舎の周辺に建設するに当たって、それぞれの建物が持っている耐力度を調査し、その中でいろいろな可能性が考えられる時に対応をしておくということです。

公共下水道事業 加入者は大丈夫

問 下水道事業費の財源内訳はどうなっているか。

答 ランニングコストは加入者負担でまかなえるのか。管路、終末処理施設は耐震構造になっているのか。

答 国の補助が50%。補助残については9割が起債で、単独の分については95%が起債です。維持費については、加入率が80%を達成すれば、加入者で維持できます。耐震性については被害を受ければ復旧をするという体制です。

看護師不足 対応どうする

問 今後医師不足、看護師不足はますます続くだろうということが想定される。対応をどのように考えられているのか。

答 指摘のとおり医師不足、看護師不足に陥っております。確保のためには業務の内容に比べて、賃金体系であるとか、いろんな面で整備をしていかなければならない面が随分あります。これらの改善をして、看護師の確保を目指したいと思っています。



ハイプラ施設、ゴミ分別状況(城川町)

医療体制に死角は無いか

厚生常任委員会

主な予算審議

□ゴミ処理費 1億円削減達成

1億円削減目標達成を市民に周知されたい。なお削減の成果については財政厳しい状況から有効に活用すべきではないかとの質問に対し、ごみの減量、不燃ごみの資源化、分別の徹底を市民にお願いし協力を願いたい。また今回の削減の成果を市民にPRしていき、削減によって生じた財源については、市民の皆さんに子育て支援等なんらかの形で還元していきたいとの答弁でした。

□西予市の 年金事務は大丈夫か

今、社会問題となっている年金台帳の管理について西予市は大丈夫なのかとの質問に対して、旧町の台帳は全て保管しているので、市民の年金に対する心配は要りませんとの答弁でした。

□福祉事務所って 何するところですか

福祉事務所の位置づけについては、組織的には独立した機関であるが、合併後新設されてすでに3年が経過しているので、市民にわかりやすい事務所にするために検討していきたいとの答弁でした。

□各診療所の 今後の見通しは

診療所の現状については、一般会計からの繰入金も多く改善が必要ではないか。合わせて指定管理者制度についても検討してはどうかという質問に対して、診療所のあり方については医療事務検討委員会からすでに答申が出ているので、これを元に今後のあり方について検討していきたいとの答弁でした。

□宇和オービーシステム 会計ミスで追徴金

宇和病院事業会計補正予算の中で、有限会社宇和オービーシステム委託事業費の加算及び延滞金分について、経営責任として西予市が出資している第3セクターとはいえ、有限会社オービーシステムとしても応分の負担をすべきではないかとの質問があり、市としては、延滞金の取り扱い、また宇和オービーシステムそのもののあり方(存続問題も含めて)について、今後どうあるべきかを十分検討して、早急に結論を出したいとの答弁でした。

陳情

西予市三瓶南運動場での特別養護老人ホームの建設中止を求める陳情について

特別養護老人ホーム建設については、理事者側で三瓶区長会、皆江地区の説明会を開催するとともに運動場を所管する西予市教育委員会にも諮り、さらに西予市体育協会三瓶支部も概ねご理解を得ている旨の説明を受けた。なお、皆江地区から要望のあった運動場の代替えについては、用地の合意が得られれば、市がグランドを整備して行く方針でもあり、3月定例会においてすでに特別養護老人ホーム建設については議決された事項でもあり、特別養護老人ホームの中止を求める陳情については、全会一致で不採択と決定しました。



塔和子さん第2の記念碑建立予定地(大崎灯台:明浜町)

委員交代・厳しい財政に顔が真剣

総務常任委員会

今回の委員会は、財政難のため事業の執行に関係する補正予算が減少していることもあり、宇和オービーシステムの消費税未払いに対処する予算の扱いがクローズアップされました。所管事項調査では、大野ヶ原小学校や明浜西中跡地、開明学校、三瓶中学校などを視察しました。

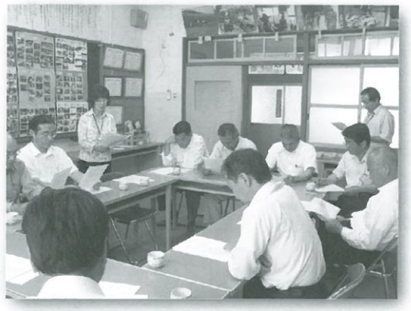
基金の状況は

問　西予市の財政見通し、特に財政調整基金の18年度末の状況と今後の推移は。

答　平成18年度決算見込みで6億5千万円程度の繰越金となる見通しで、その2分の1を財政調整基金に積み立てるため、約10億円弱と想定しています。また、毎年、当初予算に約8億円取り崩している状態であり、最低14億円から15億円程度は絶えず維持していきたい。20億円程度確保できていれば、平成16年の災害のような突発的な歳出にも対応でき、健全財政運営となります。

問　目的基金の総額は、その取り崩しは可能か。

答　総額は、現段階で約29億円。取り崩しについては、基金ができた経緯、条例等も考慮する必要があり、安易に取り崩すべきではないと判断する。具体的事案が発生した場合は、条例改正も必要となり、議会と十分協議する必要があります。



大野ケ原小学校を視察

宇和オービーシステムについて

問　有限会社宇和オービーシステム委託事業負担金について、こういった単純なミスが起こったことをどう把握しているのか、行政側のチェック機能はどうだったのか。

答　平成16年度に簡易課税方式が改正されたが、その法改正に伴う手続き事務を見過ごしたことが要因であり、行政側のチェック機能については、委託業務をそれぞれの所管課で契約という状況の中で、市側の勉強不足は否めない。オービーシステムを信頼していたというのが実情です。

問　他の旧4町と比較して宇和オービーシステムが、本当に合理的に機能しているのか。

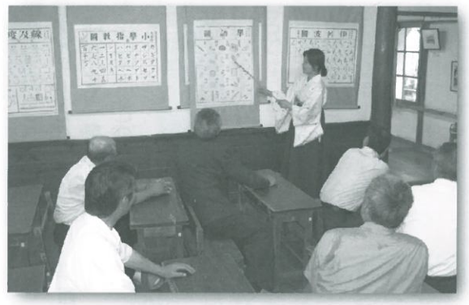
答　オービーシステムは昭和49年に設立され、宇和病院の給食また清掃等を主な業務としていたが、職員として採用できない方を組織的にオービーシステムで受け込んでいた。種々の法改正がなされた現在においては、契約解除の方向で協議を進めている。オービーシステム職員の生活が脅かされる点にも配慮し、その受け皿として市が雇用します。

問　市が受け入れる場合の賃金は。

答　オービーシステム職員の生活基盤を大きく変えるわけにもいかず、今の段階では、急激に賃金を下げられないという判断をしています。

問　民間企業を考えると、この負担は経営者の責任ではないか。また競争の原理を導入すべきではないか。

答　オービーシステムは利潤を求める会社ではないので理解願いたい。また競争の原理の導入については、施設管理等を一括して外部委託する場合などでは、当然導入すべきであるが、オービーシステムの形態は人材派遣であり、外部委託と人材派遣とでは意味合いが違うと考える。そして、今後、行政改革を進めていく中で、庁舎の清掃等、職員自ら出来ることは職員が行うという方向で取り組んでいきます。



開明学校名物「明治の授業」を受ける



塔和子記念碑を訪問

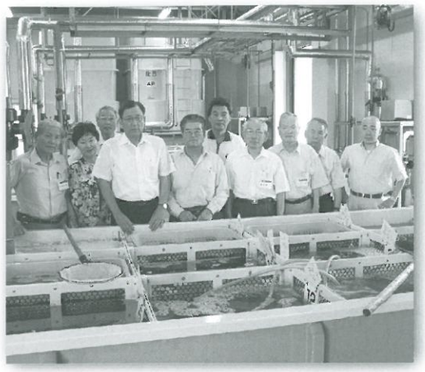
市道の維持管理不十分・もっと予算を

産建常任委員会

条例制定について

■明浜（宮野浦）船揚場を指定管理者に

「西予市漁港管理条例の一部を改正する条例制定について」その詳細説明については、明浜の船揚場に管理者を選定するにあたり、指定管理者制度を漁港管理条例に加えるというもので、この施設の管理を指定管理者に委託するものです。



活魚センター（三瓶町）

■細部については指定管理者決定後

船揚げについては、回数だけでなく日数についても詰めの話をしておかないといけないのではとの意見に対し、指定管理者が定まったら、細部に関しての打ち合わせをしてから指定管理者制度に移るとの答弁があり、検討の結果、全員異議なく原案のとおり可決決定しました。

予算審議

■市道の維持修繕をもっと積極的に

公共事業に関係して、合併後市道の管理が悪く、合併してすでに4年を経過するが、一向に改善が進まないとの住民の声をきく。市道は地域住民と直接の繋がりを持つものであり、事故でもあると大変なので、市道の状況を把握して早急に直しておくべきではないかとの質問に対して、維持工事は大変大事なものなので早急に調べて対処していきたいとの答弁でした。

■公共工事も創意工夫で予算削減を

石城地区の工事内容について、ポンプ1つ付けるだけで、約565万円かかるが、自然の落差を利用すればこの費用は要らないのではないか。施工の時に感じたことだが、ポンプを使う箇所は避ける等、他の工法はないのかという質問に対して、職員の技術向上を考えて努力しており、当然のこととして、「建設コストを下げる」、「維持管理費を下げる」、「効率をよくする」を念頭に置き、職員が勉強をし、一生懸命頑張って良い物を作り上げたいとの答弁でした。

所管事務調査

西予市の技術職員は、より専門的な分野の技術を身につけるために研修を受けているが、研修に多額の経費がかかるため、研修を受ける際の援助をしていただきたいとの意見がありました。

陳情

「WTO・FTA交渉等に関する陳情」について

一次産業の衰退が著しいので、グローバル化への対応と、食糧自給率の向上を目指すべきとの事で、全員異議なく、採択と決定しました。



堆肥施設エコセンター（野村町）

いよいよ第4コーナー

一般質問

Q 個人情報保護法 運用を適切に 弾力的に運用する



松山　清 議員

問 個人情報保護法が全面施行されたという理由で、新しく地区に転入してきた人の氏名等を行政が区長に連絡しないため、誰が住んでいるのか、またいつ移動になったのかわからないなど、自治活動に支障が生じてきている。これは、行政の過剰反応と言えるもので、もっと適切に法律を運用できるのではないか。

市長 個人情報保護審査会からの答申も踏まえ、世帯主と住所につきましては行政連絡業務の事務遂行上の必要な情報として区長に通知します。過剰反応と捉えられることもあるかと思いますが、個々の事案に慎重に対応し、弾力的かつ適正な運用を図らなければならないと考えています。

温水プール どうする？

問 合併時5年を目処に建設に向け努力するとしていた温水プールにどう取り組んでいくのか？西予市スポーツ振興計画の中にも、市民が最も切望する施設として取り上げられている。

教育長 三位一体の改革により財政は当初の予想を越える厳しい状況で、現時点では建設計画に踏み切れない状況です。また、熱源の問題など、民間運営等での整備導入も含め、一層検討していきます。

宇和病院 広域化は？

問 宇和病院は診療科目も減少し、医師不足も深刻となっている。八幡浜市立病院も移転問題を抱えているが、広域での検討はできないか。

副市長 野村病院と11の診療所を取り巻く医療環境調査や財政状況、八幡浜市立病院も含めた広域化の問題など総合的に判断していきたい。



課題を抱える宇和病院

出産祝い金廃止 その対策は？

問 平成19年度から出産祝い金を廃止し、別の子育て支援策を実施するというが、具体案はどうなったか。

福祉部長 早急に検討委員会を作り、20年度実施に向けて調査研究してまいります。それにはゴミ削減による財源の中から充てたいと考えています。



Q 本庁方式は 時代に逆行 本庁に機能を 集中させたい



元親　孝志 議員

問 西予市は日本列島の縮図のような町であり、当然それぞれに違った産業、経済、文化を有している。これを振興発展させるためには、中央での一括管理ではなく、産業振興に重点を置いた、分散型のほうが効率的ではないかと考えるがどうなのか。

市長 基本理念として、昨今の行政需要に的確に対応し、スリムで効率的な行政を運営していくためには、本庁に機能を集中させる方式に基本をおきたいと考えています。今後においても、施策の一括統制の下で、隅々までいきわたる行政を推進したいと考えています。

問 行財政の効率化は、本庁方式で解決を図るのではなく、今のシステムの見直しで解決するのではないか。

副市長 決裁手続については西予市の決裁規定に従い迅速に処理しているので業務執行上問題はありません。縦割りの弊害についても、課の独創性を保ちつつ、定期的に部・課長会を開催し、意思の疎通や情報交換を行い、行事の応援や呼びかけ等の相互協力も当然ながら行っています。住民基本台帳カード導入は、電子自治体を支える基盤として利用状況を把握しておく必要はあると考えています。

問 合併特例債という安易な起債は、国との約束が果たして補償されるのか。むしろ将来に禍根を残すことになるのではないか。

総務部長 国が地方自治体に対し、地方財政計画と地方交付税で、財源補償機能を果たすという、これまでの手法は変わっていない。従って、合併の約束のもとで借入れの起債に対する導入率につきましては、補償されるものと信じています。

問 将来職員は週に一・二日は在宅勤務になるのではないか。一箇所に人が集まる時代は過去の歴史であり、IT社会はこれとは全く逆の社会を目指している。集中から分散こそがIT社会の理念だと思うが。

総務部長 在宅勤務が普及する見込みがあれば、庁舎の規模等にも影響してくる事が考えられますが、現状、或いは今後の普及等を推測いたしますと、もう少し先のことと認識しております。

夢のある 町づくりについて

問 行政が今の継続だけで満足していたのでは未来は限りなく縮小していく。今こそ英知を結集して夢のある町づくりを推進していくべきと考えるがどうなのか。

副市長 今取り組んでいる、行政評価を推進することで効率的な財政運営、適切な事業実施が図られるものと考えています。その結果市民の皆さまが求められる新たな取り組みが可能になり、潤いと活力のある、夢の持てるまちづくりの推進が図られるものと考えています。



どうなる新庁舎建設（現本庁舎）

Q 妊婦健康診査の無料化を 2回の妊婦健康診査券を発行



山本　安男　議員

問 妊産婦健康診査は、妊娠初期から分娩まで14回程度の受診が望ましい回数と示され、公費による無料健診はおおむね2回程度で、平均的な健診費用は無料の2回を除いても1人当たり約11万7千円もかかり大きな負担です。公明党は一貫して助成拡充を主張し、今年度には子育て支援事業と合わせて約七百億円へと大幅に拡充されました。西予市においても妊産婦健康診査の無料回数拡充を行い、安心して子どもを生み育てる環境を強く希望し、今後の取り組みについて伺いたい。

福祉部長 西予市の妊婦健康診査について、2回の妊婦健康診査券を母子手帳交付時に発行し、昨年度では延べ521人がこの診査券を活用し健診を受けている現状です。今年度も2回となっておりますが、他市の動向を調査し医師会その他関係機関と協議の上、無料健診を増やす方向で進めて参りたいと考えております。

青年海外協力隊の派遣条例は

問 我が国は雇用制度・社会慣行面での障害が多く、長期の休職は極めて困難で、難しい選考試験に合格しても国際ボランティアへの参加を断念する青年が数多くいます。現職参加制度は国際ボランティア活動の期間中において職員の身分を継承したまま派遣されるもので、県内7市においてすでに条例制定されております。西予市でも派遣条例を制定すべきと考えますが、関係各位に伺いたい。

市長 西予市といたしましても「派遣条例」を整備する為、他自治体の例を参考にしながら、調査・研究等前向きな対応をしていく考えです。



青年海外協力隊の活動風景

Q 予防医学で歳出カットを 週2回以上の運動を目標に



亀井　秀男　議員

問 厳しい財政の中、右肩上がりに増えていく医療費の増加が心配されます。病気予防に予算を使うことで歳出カットにつながるのではないか。今後の計画を伺いたい。

福祉部長 人の人生において、健やかに老いる事は理想であります。自分自身の体力レベルを知ることが必要ということから、平成18年度は日常的に運動を実践する市民を増やすという目的で体力測定を行いました。この機会に具体的な運動を紹介し、実践したあと再測定を行い、その効果をみております。市の計画では1週間に2回以上運動する人の割合を、男性55%、女性60%を目標にしております。健康づくりに関する事業や地域での自主的な取組み、また高齢者にあっては地域のサロン事業等の機会に日常的に取り組める体操、軽スポーツやウォーキング等の健康教育の普及に努めたいと考えております。

加入者負担は

問 ケーブルテレビの加入は勤労者でも大変なのに、国民年金生活者、独居老人には大きな負担となります。お考えを伺いたい。

副市長 市内で36箇所の説明会に出向きましたが、どこの会場でも年金生活のお年寄りには月々の負担が大きいという御意見を頂いております。従いまして、料金設定につきましては再度番組構成から見直し、県内6チャンネルと自主放送だけの基本料金を設定する方法や一定条件の世帯に対する月々の料金の減額等を検討しております。ケーブルテレビ事業の、1つの目的の難視聴地域の解消とケーブルテレビ会社の安定した運営が両立できる料金設定と料金体系を検討しているところです。多くの方が加入いただくことで使用料も低く設定できるものと思われます。



健康づくりウォーキング



酒井　宇之吉　議員

問 冠婚葬祭も社会情勢とともに変わり、利用頻度が著しく減少し、管理費が負担になっている集会所がある。補助金で建てているが、利用方法で制約があるのか。

総務部長 営利目的で第3者等に貸し出すのは、目的を逸脱する恐れがあります。目的外使用を含め地区住民の使用以外の利用は特別な事情を除き控えるべきと考えます。

金婚式の表彰の復活を

問 金婚式の表彰、氏名の発表をされてはどうか。

副市長 該当される方全員の同意が得られるのであれば問題ないが、個人情報保護法の問題、プライバシー等の面も考慮しながら慎重に対処してまいりたいと考えています。

Q 集会所の利用規定はあるのか 目的外使用は控えるべき

選挙ポスター掲示変更は可能なのか

問 次回市議会選挙は、大選挙区24名となる。設置数、場所の変更をされるつもりがあるか伺いたい。

総務課長 現在は、掲示場数は425箇所となっているが、63箇所減の362箇所で運用している。参議院選挙においては、68箇所削減して294箇所の掲示場となっている。また、次期市長選及び市議選を見据えて継続して見直したいと考えています。

問 これからのデジタル放送の地域別のスケジュールと2011年の高速道路の完成による人・物流の対応について伺いたい。

総務部長 各市内の中継局はテレビ局ごとにデジタル放送開始が異なっており、2011年7月24日まではデジタル放送とアナログ放送の両方の電波が受信されるので2011年7月24日までは現在のテレビで受信することができます。宇和島への高速道路が完成すると、人・物流の交流が盛んになってくる。産業や人口動態がどう変化していくか予測できない段階だが、交通事情、産業、雇用創出、住宅政策等、常にグローバルに実践しながら、市全体の均衡ある発展に努めたいと考えています。



利用頻度が減少した新田集会所（明浜町）



藤井　朝廣　議員

問 国は平成12年からペーパーレス化（電子化）を推進し、西予市でも従来と比べものにならないほど効率化されたが、工事の入札での設計図書は印刷物の配布となっている。

民間企業では、PDFフォーマット等に代表されるCD等での配布が普及し、相当の省力化が図られていますが、西予市での入札は年間約300件で約10万枚分の印刷費用がかかるうえ、紙面図書等は相当量のゴミになると考えられる。これを電子化すると約百分の一の省力化と業務の効率化になり、財政難の行政側と厳しい経営を強いられている企業双方においても格段の効果的手段になり得ると考えますので、これを検討し進めるべきではないか。

Q ペーパーレス化の推進を 現状では対応厳しい

産建部長 財政が厳しい中で遅れている社会資本の効率的整備、公共工事の品質確保やコスト縮減は不可欠であり、情報通信技術を活用して関係者間で効率的に情報を交換し共有出来る建設CALS／ECの導入は、有効な手段の一つと考えますが、これはすべてのシステムが統一されて初めて機能するものであり、多額の経費が必要となることから県内の自治体においては、完全導入しているところはなく、ほとんどの自治体が導入未定という状況にあります。西予市としては、各自治体の取り組みや、地域においての業界団体の動向などを考慮しながら慎重に対応して参りたいと考えております。



ペーパーレス化でゴミの減量化を



坂本　隆重　議員

Q 産業の育成・発展施策はあるのか
地産地消で地域産業の育成を

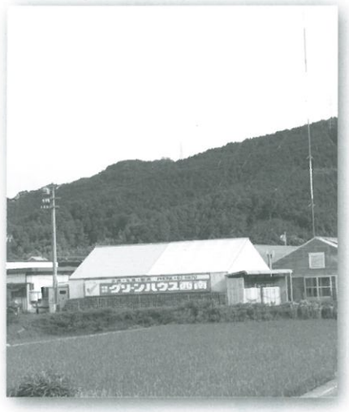
問 農業の将来のあり方は、農業・食品・流通・金融が連携し、消費者のニーズを反映し、地域の豊富な資源を生かした食の安全、安心を売り物にする攻めの農業経営が必要である。市として育成、発展の産業政策はあるのか。

産業建部長 食品産業と国内農業者との連携は農業白書によると農家との相対取引が34%、生産法人が20%、単位農協23%、経済連19%、その他4%であり、54%が農家と生産法人からの流通形態に変わってきている。市としては第一次産業が元気になり、観光、農産物、海産物、地場産業の連携により地産地消を進め新しい農産加工品開発やブランド品に積極的に取り組み、地域の活性化、雇用の創出にもつなげ、地域産業の育成を図って参ります。

自然エネルギーの開発意欲はあるか

問 地域の自立、循環型社会の形成が必要で、その一環として「菜の花プロジェクト」の結成はどうか。菜の花を観賞し、菜種を収穫し、搾油で出た油粕は肥料・飼料として使い、廃油はバイオディーゼルに作り替えリサイクルし「地域自立の資源循環リサイクル」を目指すものである。菜種の他にひまわり、大豆、米、間伐材等の対応が可能であると思うが考えを伺いたい。また、ソーラーシステムで、庁舎の電力を賄ってはどうか。風力発電の構想とあわせて考えを伺いたい。

市長 「菜の花プロジェクト」は、滋賀県が平成10年から始めた農業振興と観光振興、生活改善を図るエコ・リサイクルの成功例であり、西予市にとっても、大いに参考になる事例かと思う。自然エネルギー分野ではCO_2を排出しないソーラーや風力発電が注目されているが、ソーラーパネル発電は安定しているが設備投資の面で普及には時間がかかると思う。風力発電は、現在数社の業者が市内で風力調査等を行っており、今後の動向を見極めたい。地球温暖化、排ガス規制、新エネルギーの開発、研究が進められているバイオ・エタノール等、新たな燃料の実現も見ている。西予市としても科学技術の進歩の推移をみながらできることから取り組んで行きます。



地域に根ざす地場産業



二宮　元　議員

Q 鹿野川ダム周辺の地すべり対策を
肱川流域総合整備推進協議会で



今なお、鹿野川ダム地すべりの爪跡の残る旧大近宅(栗木部落)

問 鹿野川ダムは、昭和34年水没した208戸の方々のご協力で完成した多目的ダムである。以来大洲など被害も少なくなり恩恵に浴しているが、ダム貯水池周辺地域の栗木、坂石地区では、満水に貯めた後に大量の水を放出したため大規模な地滑りが発生し大問題になった。以来地元の皆さんは大雨、台風、地震などがある度に再発を心配されている。市当局も不安をいつも抱えて暮らす地元住民が安心安全な生活を営めるよう、国当局に働きかけ万全を尽くされたい。

市長 西予市として地域住民が安全で安心して過ごせる環境づくりのために、西予市と大洲市、内子町で組織いたしております肱川流域総合整備推進協議会において、県および国に対しまして、鹿野川ダム及び野村ダム流域の先の問題を含めた総合的な流域整備事業の陳情を行っておりますので、今後とも引き続き、事業の継続を要望してまいりたいと考えております。



鍵原　芳和　議員

問 個人情報が大量流出し大きな社会問題となっている。本市の電算管理状況を示されたい。

総務部長 それぞれの委託業者とも旧町庁舎内の電算室で作業しており流出の恐れはないとの報告を受けております。本市においては、「西予市情報セキュリティポリシー」を策定しており、今後ともすべての職員が情報の重要性を再認識するよう、周知徹底を図ってまいります。

公会計改革の取り組みどうなる

問 「行政改革推進法」および「公共サービス改革法」が施行され、行政改革の新指針が示された。複式簿記の考え方の導入を図り、財務4表を作成・公表するよう指導されているとのことであるが、その対応について伺いたい。

Q 個人情報管理の徹底・再確認は
情報セキュリティポリシーを策定

総務部長 3万人以上の都市は、財務4表を平成21年度までに作成・公表するよう指導されております。バランスシートについては、財産台帳の整備が最も重要であり公営企業や一部事務組合、第三セクター等も連結財務諸表作成の対象となりますので、関係部署との協力体制を密にして取り組んでいきたいと考えております。



目立ち始めた限界集落

限界集落の振興対策をどうする

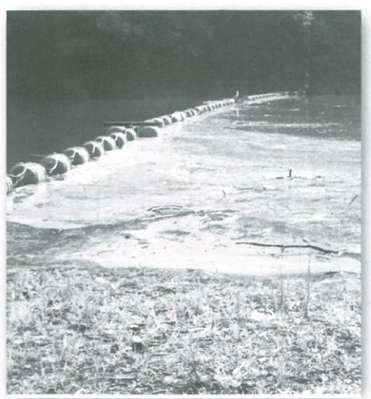
問 今後10年もすれば消滅しかねない「限界集落」といわれる地域が周辺部に増えつつあり、自立に向けた取り組みを行政主導ですすめることが重要である。「限界集落」に対する振興対策をどう考えられるのか、伺いたい。

市長 本市は限界集落とされる地区が64地区あり、全地区の19%を占めています。今後は、集落再編や「再生モデル地区(仮称)」の指定など重要施策に位置づけ、今年一年間かけて何らかの方針をつくりたいと考えております。

二つのダムの水質管理の徹底を

問 鹿野川ダム、野村ダムは、大洲市を初め海岸部旧2市8町の最も大切な命の水瓶である。食生活を初め生活環境の変化に伴い増える一方の生ゴミなど、廃水はすべて両ダムに流れ込み、アオコ・変色・悪臭などが発生し水質汚染は更に深刻な問題である。ダム管理者も底水に酸素を入れる装置など酸欠防止に努められ、今年は稚鮎が沢山成長しているとの朗報もあるが、飽食の時代とも言われ大量消費は更に進んでおり水質汚染対策は緊急課題である。海岸部など水の恩恵を受けている関係自治体に物心両面の支援を働きかけ、積極的に取り組む時期であると思うがいかがか。

副市長 肱川における等の不法投棄、河川水質の汚濁の実態を把握し、汚染防止対策等の樹立及び緊急時の連絡体制等について、各関係機関相互の情報連絡及び調整のための『肱川水系水質汚濁防止連絡協議会』の一員となっております。恩恵を受けている市町に対しても協議会の中で提案等いたしたいと考えております。昭和30年代の美しい清流肱川の再生を目指して、努力してまいる所存であります。



H19.6.28現在
広がる一方の水質汚染(アオコ)

特集 医者不足で存続ピンチ

あなたの町の病院・診療所

自治体病院（宇和病院、野村病院、国保診療所11箇所）の経営環境、医者の確保が大変厳しくなっています。西予市では、『西予市医療問題検討委員会』を平成18年9月に立ち上げて、その成果を平成19年2月、市長に答申をされました。答申の主な内容は、宇和、野村両市立病院は、中長期的には、医療資源の集約化を図るために、『新市民病院（仮）』として整備をする。病院および診療所の運営体制については、公設民営化、指定管理者制度の導入も視野に入れた抜本的な改善・充実を図る。国保診療所については、答申書に沿って、現状を報告いたします。今回の答申書を踏まえて、議会としても対応を検討したいと考えております。あわせて市民の皆さんも是非一緒になってご検討を頂きたいと思います。（資料は平成17年度の決算報告によるものです）



坂石診療所

野村地区は、坂石診療所は休止する。惣川診療所は現状体制を基本とし、今後調査を踏まえた上で、診療日数または診療時間の延長を検討する。（答申より）



惣川診療所

城川地区は、土居診療所に1名の常駐医師を確保し、市立野村病院・県立中央病院の協力支援を受けながら城川地区内の診療所を運営する。また福祉バスの運行路線を考慮しながら、土居診療所を中心とした遊子川診療所と杉之瀬診療所の運営体制を見直すこととする。（答申より）



遊子川診療所

囲炉裏のある待合室



土居診療所



杉之瀬診療所

経営状況

	事務職員	医師	看護師等	臨時職員	収支額（円）
明浜町	1	4	9	2	赤字 1億183万円
野村町	0	0	0	0	〃 695万8千円
城川町	1	1	5	1	〃 1,529万3千円
三瓶町	1	1	2	2	黒字 703万3千円



高山診療所



田之浜診療所

明浜地区は、地区内4診療所を内科医師3名体制から内科医師2名体制とする。医師の常駐診療所については、地区の利用状況等を十分に検討し、常駐医師のいない他の2診療所については指定管理者制度による民間委託を視野に入れた出張診療所とする。歯科医は現状を維持するものとする。（答申より）



俵津診療所



狩江診療所



周木診療所



二及診療所

三瓶地区は現状の2診療体制を維持するものとする。（答申より）

診療状況

	医療（千円）		歯科（千円）		計（千円）		診療日数		診療件数／日	
診療所名	件数	費用	件数	費用	件数	費用	医科	歯科	医科	歯科
俵津診療所	3,409	56,941	593	7,046	4,002	63,987	206	47	30.7	29.3
狩江診療所	3,402	41,471			3,402	41,471	216		38.2	
高山診療所	1,859	26,294	1,737	23,133	3,596	49,427	235	169	18.3	26.5
田之浜診療所	1,015	14,485			1,015	14,485	140		15.3	
二及診療所	2,843	36,693			2,843	36,693	123		70.3	
周木診療所	2,775	38,141			2,775	38,141	145		65.4	
坂石診療所	102	870			102	870	49		2.2	
惣川診療所	803	8,365			803	8,365	95		12.1	
土居診療所	6,298	97,714			6,298	97,714	263		48.6	
杉之瀬診療所	1,137	14,321			1,137	14,321	100		20.4	
遊子川診療所	324	4,285			324	4,285	47		12	